

令和3年7月1日からの大雨による被害 及び消防機関等の対応状況（第35報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和3年11月30日（火）17時00分
消 防 庁 応 急 対 策 室
※下線部は前回からの変更箇所

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・顕著な大雨に関する全般気象情報
 - 7月 1日 8時59分 発表 東京都
 - 7月 7日 5時09分 発表 島根県
 - 7月 7日 6時59分 発表 鳥取県、島根県
 - 7月10日 3時29分 発表 鹿児島県
 - 7月10日 7時39分 発表 鹿児島県
- ・大雨特別警報
 - 7月10日 5時30分 発表 鹿児島県（出水市、薩摩川内市、伊佐市、さつま町）
6時15分 発表 鹿児島県（湧水町）
→1 4時32分 大雨警報に切替え（警報解除）
 - 7月10日 5時55分 発表 宮崎県（えびの市）
→1 1時45分 大雨警報に切替え（警報解除）
 - 7月10日 6時10分 発表 熊本県（人吉市）
→1 1時45分 大雨警報に切替え（警報解除）

2 被害の状況

(1) 静岡県熱海市の土石流（7月3日から活動開始）

- 7月 3日 ・16人救出済み（死者2、軽傷3）
 - ・16時20分 静岡県相互応援協定に基づき静岡県内消防本部が熱海市へ出動（43隊160人）
 - ・13時30分 静岡県から緊急消防援助隊の出動要請あり
→東京都、神奈川県等（89隊333人）出動
 - ・14時50分 消防庁職員7人を派遣（熱海市消防本部5、熱海市2）
- 7月 4日 ・建物被害は130棟程度
 - ・13人救出済み（死者1）
- 7月 5日 ・3人救出済み（死者1）
- 7月 6日 ・3人救出済み（死者3）
- 7月 8日 ・2人救出済み（死者2）
- 7月11日 ・1人救出済み（死者1）
- 7月13日 ・1人救出済み（死者1）
- 7月15日 ・1人救出済み（死者1）
- 7月16日 ・1人救出済み（死者1）
- 7月17日 ・2人救出済み（死者2）
- 7月18日 ・3人救出済み（死者3）
- 7月20日 ・1人救出済み（死者1）
- 7月24日 ・2人救出済み（死者2）
- 7月27日 ・1人救出済み（死者1）
- 8月 6日 ・1人救出済み（死者1）
- 8月21日 ・1人救出済み（死者1）
- 8月23日 ・1人救出済み（死者1）
- 8月28日 ・1人救出済み（死者1）

(2) その他（消防本部等情報）

【神奈川県】

- ・ 7月 3日 逗子市内の自動車専用道路で土砂崩れが発生し、車両が巻き込まれて負傷者1人発生（軽傷）→逗子市消防本部により救出済み。その他、被害なし

【滋賀県】

- ・ 7月 3日 3時15分頃 大津市で土砂崩れが発生
→人的被害なし、住家被害あり

【鳥取県】

- ・ 7月 7日 鳥取市で冠水により62人の孤立が発生→解消済み
- ・ 7月 8日 倉吉市の事業所の裏山で土砂崩れが発生（2人軽傷、1人土砂の中にいる模様）、消防隊・消防団で救助活動中（14時59分覚知）
→18時34分 鳥取中部ふるさと広域連合消防局により救出済み。（軽傷）
鳥取市で土砂による道路寸断により6人の孤立が発生
→7月9日解消済み
倉吉市で土砂による道路寸断により24人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月9日解消済み
倉吉市で河川洗掘による道路不通により6人の孤立が発生。徒歩により通行可能
→7月10日解消済み
- ・ 7月 9日 三朝町で土砂による道路寸断により1人の孤立発生。人的被害なし
→解消済み

【島根県】

- ・ 7月12日 出雲市佐田町で土砂崩れにより3人の孤立発生。
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市吉田町で土砂による道路寸断により2棟の孤立発生。人的被害なし
→島根県消防防災ヘリコプターにより3人救出済み。
- ・ 7月12日 雲南市三刀屋町で道路冠水により20棟の孤立発生。人的被害なし

【広島県】

- ・ 7月 8日 東広島市で浸水により29人の孤立が発生
→東広島市消防局により救出済み。人的被害なし
- ・ 7月 8日 竹原市で土砂による道路寸断により50人の孤立が発生
→救助要請なし。ライフライン使用可。
→徒歩により通行可能。人的被害なし
→解消済み
- ・ 7月12日 三次市で土砂崩れによる道路寸断により7人の孤立が発生
→備北地区消防組合消防本部により救出済み。

【高知県】

- ・ 7月18日 宿毛市で土砂崩れにより住家1棟が全壊。人的被害なし

【宮崎県】

- ・ 7月10日 えびの市で道路冠水により救助要請
→西諸広域行政事務組合消防本部により1人救出済み。

【鹿児島県】

- ・ 7月10日 伊佐市で浸水により救助要請（119番通報10件）
→伊佐湧水消防組合消防本部により10人救出済み。人的被害なし
- ・ 7月10日 さつま町で道路崩落により34人の孤立が発生
→解消済み

(3) 人的・住家被害（上記(1)(2)の被害を含む。）

都道府県	人的被害					住家被害					
	死者	行方不明者	負傷者		合計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
秋田県								1	54	141	196
栃木県								5		5	10
群馬県				1	1			2		4	6
埼玉県								1			1
千葉県									3	17	20
東京都									1		1
神奈川県		1		1	2	1		7	24	454	486
富山県										4	4
岐阜県										6	6
静岡県	26	1	1	2	30	54	11	37	114	329	545
(うち熱海市)	(26)	(1)	(1)	(2)	(30)	(53)	(11)	(34)			(98)
愛知県									2	3	5
滋賀県								2		1	3
京都府								1	3	5	9
大阪府								1		3	4
兵庫県							1			12	13
奈良県										7	7
鳥取県			1	3	4			2	23	251	276
島根県						3	26	124	82	638	873
岡山県				1	1					5	5
広島県							77	154	98	512	841
山口県									3	17	20
香川県				1	1					4	4
愛媛県										21	21
高知県						1		2	1	13	17
熊本県										3	3
宮崎県										2	2
鹿児島県								3	64	181	248
合計	26	2	2	9	39	59	115	342	472	2,638	3,626

3 避難指示等の状況

都道府県	警戒レベル5					警戒レベル4				
	緊急安全確保					避難指示				
	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数
兵庫県						1			2	9

4 都道府県における災害対策本部の設置状況

【廃止】岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、鳥取県、島根県、広島県、熊本県、鹿児島県

5 消防隊の体制

静岡県熱海市の土石流事案

- (1) 熱海市消防本部 85人
- (2) 緊急消防援助隊等
・静岡県内の応援隊
→8月3日 全隊引揚げ
- (3) 熱海市消防団 180人

6 消防庁の対応

- 7月 1日 8時59分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
12時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
13時45分 都道府県、指定都市に対し「梅雨前線による大雨についての警戒情報」発
出
- 7月 3日 12時45分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部に改組（第2次応急体制）
13時10分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部に改組（第3次応急体制）
→11月30日 17時00分 廃止
13時30分 静岡県から消防庁長官に緊急消防援助隊派遣の要請
→横浜市、静岡市、東京都、神奈川県に出動の求め
→5日9時07分 指示に切り替え
→9日 愛知県に出動の指示
→11日 山梨県、長野県に出動の指示
→17日 群馬県に出動の指示
→18日 栃木県に出動の指示
→19日 茨城県、岐阜県に出動の指示
→26日 全隊引揚げ
- 14時50分 消防庁職員5人、消防研究センター職員2人（土砂災害専門家）を熱海市役所及び熱海市消防本部に派遣
- 7月 8日 10時20分 消防庁職員2人（緊急消防援助隊活動調整）を静岡県災害対策本部に派遣
- 7月10日 6時17分 大雨特別警報が発令された熊本県、宮崎県、鹿児島県に対し、適切な対応及び被害報告について要請
- 7月17日 総務大臣及び消防庁長官が熱海市被災現場を視察し、市長等と面会

問い合わせ先

消防庁応急対策室

央戸・鈴木・小川・赤荻

TEL 03-5253-7527

FAX 03-5253-7537